

J R東日本E 2 5 7系5 0 0番代(千葉地区用)の バリアフリー設備のご案内

(2 0 2 4年3月16日現在)

©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

2 5 7系電車には、中央本線の「あずさ」「かいじ」用として製造された0番代(のちにリニューアル改造され東海道本線の「踊り子」などに転用)と、房総各線の「さざなみ」「わかしお」「しおさい」用として製造された5 0 0番代との2種類があります。

5 0 0番代は国鉄時代から運行してきた1 8 3系の老朽取替用として2 0 0 5年1 0月1 6日から走り始めた電車で、需要に応じて5両または1 0両で運転できるのが特徴です。

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と標記)

2号車の1番A席(内房線で東京湾側、外房線で清澄山側)とD席(内房線で鹿野山側、外房線で太平洋側)が車いすからの乗り移りに便利なよう通路向きに回転できる構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。この2席は当日まで一般向けに発売されることはありません。また2番のA B C D席が同伴者のための席として別枠で用意されていますが、こちらの4席は前日の朝から一般向けにも発売されます。

多目的室(次ページの配置図で「M」と標記)

改良型ハンドル式電動車いすには対応していない構造のものが2号車にあります。

座面と背もたれを手前に引き出し跳ね上げ式のいすと組み合わせると簡易ベッドになります。

車いす対応トイレ(次ページの配置図で「B」と標記)

2号車の東京寄りにベビーベッド(おむつ交換台)を併設した多機能トイレがありますが、ベビーチェアはありません。

ベビーチェアは3号車と5号車のトイレに設置されています。

洗面所

2号車の東京寄りに車いす対応構造のものがありません。

公衆電話(次ページの配置図で「p」と標記)

3号車の東京寄りに設置されていましたが、車いす対応構造ではなく現在は撤去されています。

飲料自動販売機

2 0 0 5年1 0月1 6日の運行開始当初から設置されていません。

受動喫煙の発生状況

2 0 0 5年1 0月1 6日の運行開始当初から完全禁煙です。

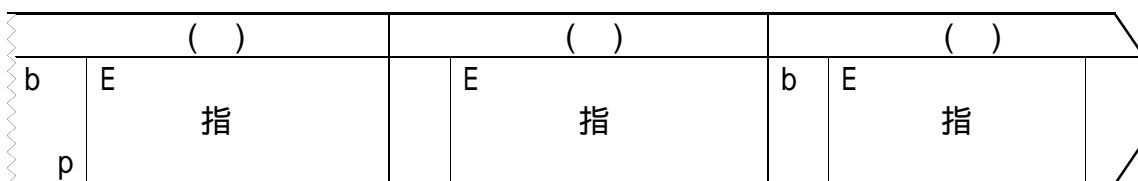
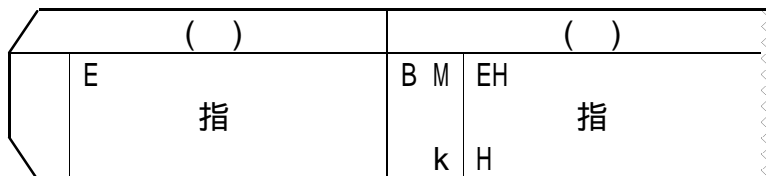
乗車・調査の実施記録

2 0 2 4年6月2 9日(土曜日)安房鴨川1 4時0 8分発東京ゆき「わかしお1 4号」
(安房鴨川駅発車前に調査)

車両番号 2号車 = モハE 2 5 7 - 1 5 0 3 (NB - 0 3編成、2 0 0 4年・日立製)

J R東日本 E 2 5 7 系 5 0 0 番代の車内設備の配置図
 下表の 5 両編成を 2 本つないだ 1 0 両編成で運転する列車もあります。

東京・新宿	(さ ざ な み)	君津・館山・千倉
東京・新宿	(わ か し お)	上総一ノ宮・勝浦・安房鴨川
東京・新宿	(し お さ い)	佐倉・成東・銚子



凡例

- 指 = 普通車指定席
- H = 車いす対応座席
- B = 車いす対応トイレ (ベビーベッド付、ベビーチェア無、オストメイト非対応)
- b = 車いす非対応トイレ (ベビーベッド無、ベビーチェア有)
- p = 公衆電話 (車いす非対応) 撤去跡
- M = 多目的室
- k = 車内販売準備室
- E = 非常通話装置 (インターホン機能あり)
- = A E D (自動体外式除細動器) は設置されていません。

細字 = 受動喫煙が発生していない清浄な空気の禁煙車



J R東日本 E 2 5 7 系 5 0 0 代



J R東日本 E 2 5 7 系 5 0 0 代の
車体側面のロゴ



J R東日本E 2 5 7系5 0 0代の
車いす対応座席
左上に非常通話装置が見えるが
車いすの人の手が届く高さではない



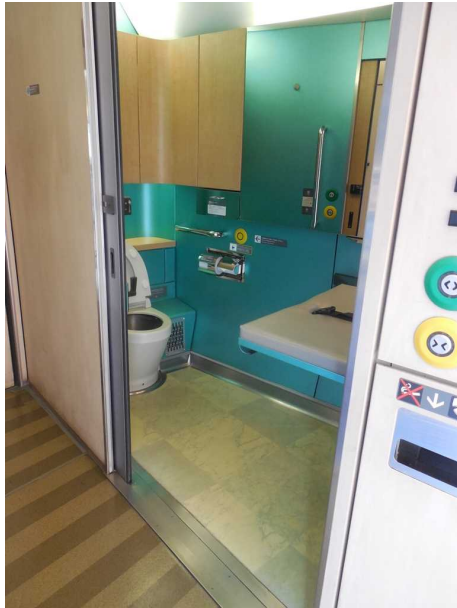
J R東日本E 2 5 7系5 0 0代の
車いす対応座席の車いす固定ベルト



J R東日本E 2 5 7系5 0 0代の
多目的室の外観
利用方法の案内は何も無い



J R東日本E 2 5 7系5 0 0代の
多目的室の内部を窓越しに撮影
座面と背もたれを手前に引き出し
跳ね上げ式のいすと組み合わせると
簡易ベッドになる構造は
他の車両でも見かけるが
E 2 5 7系では簡易ベッドの寸法が小さい



J R東日本E 2 5 7系5 0 0代の2号車の
多機能トイレ
ベビーベッドはあるがベビーチェアは無い



J R東日本E 2 5 7系5 0 0代の2号車の
車いす対応洗面所



J R東日本E 2 5 7系5 0 0代の
3号車の車いす非対応トイレ
ベビーチェアが設置されている
5号車のトイレも同じ構造



J R東日本E 2 5 7系5 0 0代の
3号車の車いす非対応洗面所
5号車の洗面所も同じ構造



J R東日本E 2 5 7系5 0 0代の3号車の
公衆電話撤去跡
2号車の車いす対応座席から往復できず
間口も狭いため
車いすでは利用できなかった
左上に防犯カメラが見えている



J R東日本E 2 5 7系5 0 0代の3号車の
設計時点では飲料自動販売機を
設置予定だったと思われる区画
壁の右下にコンセント設置用らしき穴を
塞いでいる小さな板がある
画面右が左の写真の公衆電話撤去跡



J R東日本E 2 5 7系5 0 0代の
車いす対応座席付近に設置されている
非常通話装置



J R東日本E 2 5 7系5 0 0代の
車いす対応座席付近に設置されている
防犯カメラ